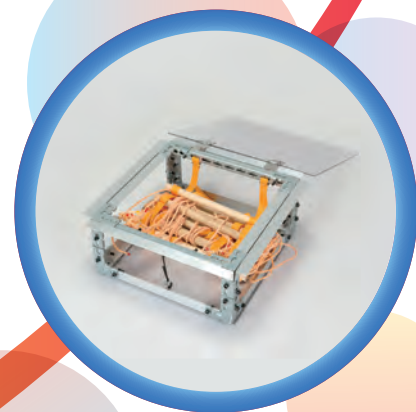


青少年創造性開発育成事業 報告書 2018

Annual Report 2018

Promotion of Young People's Creativity



自分に秘めた可能性を発見し、育てることのできる発明クラブ



株式会社トヨタシステムズ 宮治 和弘さん

豊田少年少女発明クラブOB

在籍期間：1984年(小2)～1990年(中2)

現在、豊田少年少女発明クラブで、OM基礎コース(小学6年生)及び4組(小学4年生)の指導員として活躍
長男の侑汰君(小4)も同クラブに所属

■発明クラブとの出会い

私は幼少期から身の回りにあるモノの仕組みへの興味が人一倍強い子どもでした。自動販売機や、ゲームセンターのクレーンゲーム、そして駄菓子屋さんのガチャガチャなど、また、自宅の新築時には大工さんが目の前で建材を思いのままに加工して手際良く家を建てていく様子を朝から晩まで見入っていたそうです。また、身の回りの機械は中身を見て仕組みが知りたいという欲求に駆られ、電気で動くおもちゃや目覚まし時計、ラジカセ等片っ端からドライバーで分解していたことを覚えています。

そんな私に発明クラブを勧めてくれたのは祖父でした。祖父は手先がとても器用で竹とんぼの作り方やナイフ等道具の使い方を教えてくれたり、ホームセンターによく連れて行ってくれたりと、私の好奇心を満たしてくれていました。ちょうどその頃豊田市が当時新しく開設した施設の中に豊田少年少女発明クラブの新教室ができ、クラブ員の募集があることを祖父から聞き応募したのがきっかけです。

クラブには様々な作品が展示されているのですが、その展示物の全てに動く仕組みや、中のからくりがわかるように展示されているのは、当時小学2年の私には衝撃的でした。その後、クラブの活動を通じ加速度的に私の欲求は満たされて行き、いつしか自分の手で作品を作りたいという新たな感覚に変化していきました。私にとって発明クラブは当時、夢の場所であったことは間違いありません。

■学校では学べない何かを教えてくれる発見の場

発明クラブには様々な工具や工作機械、そして材料が揃っていました。自宅には無いような高価な道具や、子どもには危険で使わせてもらえない工具、工作機械でも発明クラブでは先生方の指導の元で自由に使うことができました。また、自分のやってみたくいこと、挑戦してみたいことを先生に相談すると、適切な工具やその使い方を丁寧に教えてくださいました。色々な種類の道具に触れることで、モノづくりの幅が広がっただけでなく、材料加工による表現手法も広がっていきました。

しかし自由に工具が使えるというのは、良い面ばかり

ではありません。不適切な使い方をすれば作品も壊れてしまいますし、場合によっては怪我もします。完成に近づいた作品が壊れて残念な思いもしましたし、怪我をして痛い思いもしました(もちろん、不安全行為は先生方がしっかり注意し指導してくださるのは言うまでもありませんが…)。

でも自分で痛い思いをしたからこそ、何故怪我をしまったのか？どうすれば安全に工具を使うことができたのか？といった学校の授業や教科書だけでは得られない、体験を通じた学びをすることができたと思います。発明クラブは工具や工作機械、材料を自由に使った作品作りを通じて、例えば“安全の大切さ”も同時に教えてもらえる場所です。

■不正解のない世界

発明クラブでは年間を通じて木材、金属、電気電子部品等の様々な材料を使った作品作りに取り組みます。材料の特性には加工しにくいものもあり沢山の失敗をします。しかし失敗しても先生方は決して怒ったり咎めたりはしません。失敗した原因に向き合い、次にどうしたら良いのか丁寧に教えてくださいます。そういった失敗を積み重ねて、ある日うまくできるようになり成功した瞬間はとても嬉しいものです。もちろんその成功までの道のりは1つではなく、いくつものやり方や考え方があります。発明クラブでは例え失敗したとしても、その一つ一つがどれも正解であり、沢山の失敗経験の先に成功へ自然と到達できる方法を見つける力が付いてきます。

私もクラブに入った最初の頃は思ったように作品を作ることができず、とても苦労しましたし悔しい思いもしました。でも、試行錯誤を繰り返して、やっとの思いで出来上がった作品が、県の作品展、そして全国の作品展で入賞した時は嬉しいだけでなく、自分への自信に繋がりました。



中学3年の時の作品
S.S.V (SAFETY SYSTEM VEHICLE)
無免許防止&車間距離警告&
後方警告システム

■OM世界大会で自分を再認識

OM(Odyssey of the mind；創造性の冒険の旅)世界大会は毎年アメリカで開催される独創性を競うコンテストです。1980年から年1回開催され、今年40周年を迎えます。アメリカの州立大学のキャンパスを貸し切って世界各国の代表が8000人規模で様々なアイデアを競い合います。その場で与えられた課題を制限時間内にチームで協力して取り組む競技(例えば、ストローやクリップ数個といったごく少数の材料を駆使してできるだけ高い塔を作り上げる)や、バルサ材(とても軽くて軟弱な木)を使い15g以内で構造物を作り、それに重りを載せてその重量を競う競技などがあります(たった15gの木材に数百Kgの重りが載ってしまうのは驚きです)。OMが他のアイデア競技会と一味違うのは、観客を楽しませるためにパフォーマンスを披露して、その表現力やコミュニケーション能力を含めた総合力が問われる所です。



OMに出場したときのようす。
左から2番目が宮治さん

私は1990年にこのOM世界大会に日本代表の1期生として参加しました。当時私はどちらかといえば、引っ込み思案だったのですが、OMのパフォーマンスを通じて自分を表現する事を体験し、コミュニケーションを自ら発信していく事の大切さを学びました。その時の経験が日常生活ではもちろんのこと、大学の自己推薦入試(自分でテーマを決めて30分間のプレゼンを行う試験)においても活かされ、仕事でお客様の前でのプレゼンをする場合など相手に自分の考えていること、思いを伝える必要がある場面において大変役立っています。

現在は発明クラブでOM世界大会へ参加する選手を育成するOM基礎講座の指導を担当しています。この指導を通じて感じるのは日本の子どもたちの秘められた可能性です。日本の子どもたちはどこの国よりも協調性がありチームワークは抜群なのですが、自己表現が苦手です。日本の得意とするチームワークに世界でも通用する表現力を身に付ければ向かう所敵なしです。こういった子どもたちの可能性や良い所を見つけて自信を付けてあげられるよう心掛けて指導しています。



現在は、豊田少年少女発明クラブで指導員としても活躍されている宮治さん。

■クラブで積み重ねた経験を活かして

現在、自動車関連のIT会社に就職しサイバーセキュリティに関わる仕事をしています。世の中にある多種多様なセキュリティ製品やセキュリティ施策をどう組み合わせれば、最大限の効果を発揮できるか、最低限の構成でそれが実現できるのかを考える必要があります。ただ闇雲に複数の施策を組み合わせるだけでは使い勝手が悪くなってしまい本来の仕事に支障が出てしまいますし、また、予算との兼ね合いもあります。

この分野は一見手先を使うモノづくりとは異なるように見えますが、特性の違う機器を組み合わせていくのは材料を組み合わせ、新しい作品を生み出す工作、モノづくりにとても近いものがあります。まだまだ世間的に認知度の低いサイバーセキュリティの重要性をOMで培った表現力を武器に広くプレゼンをし、理解活動を推進しています。



多くの外国人が参加する会議で発表する宮治さん。発明クラブで培った経験は現在の仕事でも活かしています。

■子どもたちに期待すること

私は小学4年生の息子を発明クラブに参加させています。これは、発明クラブの指導方針が子どもの発想力、想像力を引き延ばすのにとっても良いものであると確信しているからです。また、自分の息子も含め最近の子どもたちに共通して感じるのは、“失敗を恐れ正答ばかり気にする”傾向があるということです。これは学校において「全てにおいて安全を優先」し過ぎてしまうがために、自らが積極的に挑戦することを阻害してしまっているように思うのです。先にも書きましたが、様々な課題や問題に挑戦して失敗を重ねて得られるかけがえのない経験もあります。子どもたちには失敗を恐れず果敢に挑戦する事の大切さを発明クラブの活動の中から身に付けて欲しいと思いますし、試行錯誤から誰にも思いつかないような素晴らしい自由なアイデアや作品を創造してくれることを期待しています。また全国の発明クラブがより活性化をし、将来日本のモノづくりを支える子どもたちを増やしていって欲しいと考えています。



宮治さん親子。長男の侑汰君(小4)も発明クラブで活躍中です。

目次

巻頭メッセージ

ご挨拶.....	3
少年少女発明クラブ.....	4
第77回全日本学生児童発明くふう展	8
第41回未来の科学の夢絵画展	10
第9回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト	12
メッセージ紹介.....	14
全国の少年少女発明クラブ一覧.....	15
2018年度 青少年創造性開発育成事業に係る 協賛金及び寄付金.....	19

公益社団法人発明協会

会長 野間□ 有



発明協会が行う青少年の創造性を育成する事業に対し、日頃よりご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

平成30年(2018年)度は、全国各地の発明クラブの代表作品を集めた「全国少年少女発明クラブ創作展」を福島県郡山市において開催し、多くの来場者にお越しいただきました。発明クラブの作品展示に加え、工作教室やサイエンス教室などを通じて子どもたちの創造性を刺激するまたとない機会となりました。

本報告書では、前述の創作展や全国200を超える地域で活動を行う「少年少女発明クラブ」をはじめ、「全日本学生児童発明くふう展」、「未来の科学の夢絵画展」、「全国少年少女チャレンジ創造コンテスト」などにおいて、子どもたちが目を輝かせながら創意工夫する様子を見ていただくことができます。

昭和49年(1974年)にスタートした少年少女発明クラブからは毎年多くの卒業生が羽ばたき様々な分野で活躍されておりますが、今回巻頭メッセージをいただいた宮治さんのように、子どもたちを支える指導員として再び発明クラブの運営に携わっていただく方々も増えております。当協会といたしましては、こうした世代と世代を繋ぐ創造性教育の輪を広げながら、新たな令和の時代におきましても子どもたちの科学技術に対する夢を育み、創造性を養う諸事業を実施して参りますので、皆様方におかれましては引き続きご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



◆総 裁 常陸宮殿下

◆会 長 野間□ 有(三菱電機株式会社 特別顧問)

◆目 的 発明の奨励、青少年の創造性開発育成、知的財産権制度の普及啓発等を行うことにより、科学技術の振興を図り、もって我が国経済の発展に寄与することを目的とする。

◆事 業 (1)発明奨励振興事業
(2)青少年創造性開発育成事業
(3)知的財産権制度普及等事業

少年少女発明クラブは、発明協会創立70周年の記念事業の一環として、1974年にスタートしました。

全国47都道府県に209か所、約9900名の子どもたちと約2800名の指導員が活動しています。

(2019年6月1日現在)



■子どもたちが主体的に学び、学校教育とは一味違う経験をしています

「工作がしたい」、「発明がしたい」といった意欲をもった子どもたちが集まり、のびのびと自由に発想し、主体的に学びながら楽しんで活動をしています。

学校は先生に教わるのが中心ですが、発明クラブは様々な学年の子どもたちが自分の意思で集まって一緒に活動しています。学校とはまた一味違う楽しさや学びを得ています。

■発明クラブは、地域と共に歩んでいます

活動場所は地域によって様々ですが、学校、科学館、公民館、児童館、その他の公共施設などで活動するクラブがたくさんあります。また、活動で使用する木材、電子部品などの資材を、地場を支える企業からのご厚意で提供いただくなど、町ぐるみで、子どもたちの成長を支援する場となっています。



■様々な分野の経験豊かな指導員によって活動が支えられています

指導員として登録いただいている方は、地域企業の技術者、学校の先生、技術者OB・OG、教員OB・OG、学生ボランティア、発明クラブ卒業生などです。日ごろから、指導方法・教材の研究、指導員・発明クラブ間で情報交換を積極的に行って、熱心に、子どもたちとのふれあいを楽しみながら活動していただいています。

2018全国少年少女発明クラブ創作展

全国各地の少年少女発明クラブの紹介と創作品の公開展示を通じ、その活動内容の周知と理解を促進し、我が国の未来を担う青少年のための創造性開発育成の推進に資することを目的として開催しました。

会 期：平成30年10月13日(土)～14日(日)

会 場：福島県産業交流館「ビッグパレットふくしま」



平成30年度少年少女発明クラブ指導員表彰

全国の少年少女発明クラブにおいて、長年、指導員として携わっていただいている方を対象にした「少年少女発明クラブ指導員表彰」の表彰式を挙行了しました。

■表彰概要

対象者：発明クラブ指導員として10年以上継続して活動
されている方

受賞者：60名

■表彰式

会 期：平成31年2月27日(水)

会 場：東京都港区・発明会館ホール

※第84回少年少女発明クラブ全国会議と併せて実施



発明クラブ卒業生たちの、
その後の活躍をご紹介します

「はつめいクラブセンパイ図鑑」



「発明クラブのおかげで前向きに挑戦することができます」

石岡少年少女発明クラブ(茨城県) 常盤 みなみさん(19歳)

小学4年～5年まで発明クラブに在籍。その後、筑波大学に進学し、心理学を専攻。

発明クラブと私

私が発明クラブに参加したのは、友人に誘われたことがきっかけでした。

モノ作りはもちろん、先生や友人、一緒に参加していた父との作品を通じた交流が楽しみでした。

自分の力だけではちっぽけなままの作品も、人の手を借り、共に取り組むことで無限の可能性を見せてくれる。そんな魅力を持ったクラブに、気が付けば誘ってくれた友人よりもはまってしまっていました。

現在は、筑波大学で心理学を学んでいます。人が持つ不思議な力を、改めて感じています。

お店に並んでいる素敵なアクセサリ、講義で紹介された難しい論文…きっと前なら、「私には作れない」「読めるわけがない」と思っていたでしょう。しかし今は「自分にもできるかもしれない」と挑戦することができます。まさにクラブで学んだことが生きているな、と思います。



発明クラブ在籍時(2009年)の
常盤さん

後輩へのメッセージ

モノ作りも勉強も、やろうと思えば1人でできます。しかし発明クラブに入ったからには、多くの人と関わって、自分にはないアイデアをたくさん吸収してください。そこで得たものはこれからのあなたにとって最高の肥料になります。クラブ活動を通して、素敵な出会いが待っていることを願っています。

「クラブOBとして、発明や工作の楽しさを伝えています」

高崎少年少女発明クラブ(群馬県) 酒見 健太郎さん(18歳)

中学2年生～中学3年生まで在籍。その後、OB指導員としてクラブ員の作業支援や講師として活動。



発明クラブと私

発明クラブに入ったのは、友人からチャレコンに誘われたことがきっかけでした。もともと工作にはあまり興味がありませんでしたが、所属したその年に地域活性化アイデア創作活動として、世界遺産になった富岡製糸場と地域の見所を紹介する案内板を製作する活動があり、その活動を通じて工作の楽しさを学びました。発明クラブに入ったのが中学生で他のクラブ員よりも少し年が離れていたのですが、みんなと一緒に作業するというよりも周りの小学生の作業のお手伝いをする事が多かったです。



OB指導員として活躍する酒見さん

その後、私とチャレコンに誘ってくれた友人は、情報関係や電気関係に関して豊富な知識があったので、その知識を生かしてみてもどうかと指導員の先生から提案されました。私たちも『教える』ということに興味があったので、指導員としてこれまでに光ファイバーを使った飾りや、7セグの手作り時計の創作指導を行ってきました。まだまだ指導員の先生方から学ぶことは多いですが、わかりやすい指導ができるように切磋琢磨していきたいと思います。

後輩へのメッセージ

私は発明クラブに入り、指導員の先生から発明や工作の楽しさについてたくさん学んできました。現在では、私がOB指導員としてクラブ員の皆さんに発明や工作の楽しさを伝えています。みなさんも、これからたくさんの物と出会うと思います。その中で、このクラブで学んだことが活かせる事があるかもしれません。一つ一つのひらめきを大切に、発明クラブでの活動を楽しんでください。



「イメージして具現化するということは、どの世界でも同じです」

出雲少年少女発明クラブ(島根県) 藤江 楽音さん(19歳)

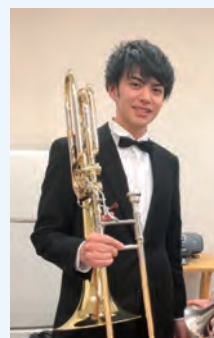
2008年(小学4年)～2011年(小学6年)まで在籍。現在は、東京音楽大学に在籍。

発明クラブと私

発明クラブでは、違う学校、学年の人たちと、「あーでもない、こーでもない」と一緒に考えることがとても楽しかったです。そんな仲間や先生たちと、東京工業大学で行われた、ハイブリッドカーのチャレコン全国大会に出場したことがとても大きな思い出になっています。全国のレベルの高さに落ち込みましたが(笑)。

その後、中学校に進学してからは、吹奏楽部に熱中し、音楽の道に進むことを決めました。現在は、東京音楽大学でバストロンボーンの勉強をしています。

発明やものづくりとは違う世界のようにですが、イメージして具現化するということは、どの世界でも同じだと感じています。



後輩へのメッセージ

普段の生活において、常に「どうなっているんだろう」という心を大切にすること、「自分の目で物を見る」ということが大事だと思います。それがイメージを具現化するための近道です。

発明クラブを通じて、たくさんのことを経験してください。そして、自分を信じて、イメージを具現化してください。

「自分の手で学びを創りだしてこそ、人生だ」

砺波市少年少女発明クラブ(富山県) 舘 真理恵さん(24歳)

平成18年4月～平成19年3月(小学校6年生)まで在籍。現在は、地元の砺波市役所に勤務。



発明クラブと私



子供歌舞伎で三味線の先生と出会って14年。当時の経験や気持ちを忘れたくないという想いから習い始めた三味線は、今では自分を構成する柱の1つとなっています。

当時はいわゆる「勉強」は嫌いで、学校もあまり好きではありませんでした。それでも理科の実験の時間は大好きで、将来の夢は科学者でした。発明クラブで印象的だったのは、先生のお家で作品作りをしたときに、先生の発明を見たり、おやつを食べてお話したりできたことです。学校でも家でもない場所で大人と仲良くできたことは、なんだか特別な感じがしてうれしかったことを覚えています。

その後、大学では生涯学習を専攻し、様々な「学び」のあり方に触れました。学校で道筋が決められている「勉強」だけが「学び」ではないと強く感じるとともに、小さい頃の私は人から与えられた学びではなく、自分で創りだした学びを得たかったのだらうと思いました。卒業後は生涯学習の知識や経験を活かすため、地元で公務員になりました。私が今まで発明クラブや地元の子供歌舞伎で経験したような「家や学校の外の学びの場」を増やし、活性化させたいと思います。そして人々が学びつづけられるような地域を創りながら、私自身も学びを創造し、成長していきたいです。

後輩へのメッセージ

みなさんの夢は何ですか？私は小さい頃の夢だった科学者にはなっていません。でも、年齢を重ねて世界が広がるにつれて、科学者になりたかったというより「まだ誰もしていないことを成し遂げたかったのだ」と気がきました。当時は自分のやりたいことができる職業を科学者しか知らなかったんですね。だから夢を諦めたとは思っていないし、むしろ自分の夢を正確に捉えられたので夢に近づけたと思っています。

いろんな世界を知ることは、生き方の選択肢を無限に広げてくれます。発明クラブの経験はその一歩です。みなさんには、いろんな年代の子どもや大人と関わりながら「学び」を重ねてほしいと思います。そして自分の「本当にやりたいこと」に気づき、確かな想いをもって人生を歩んでくれることを願います。



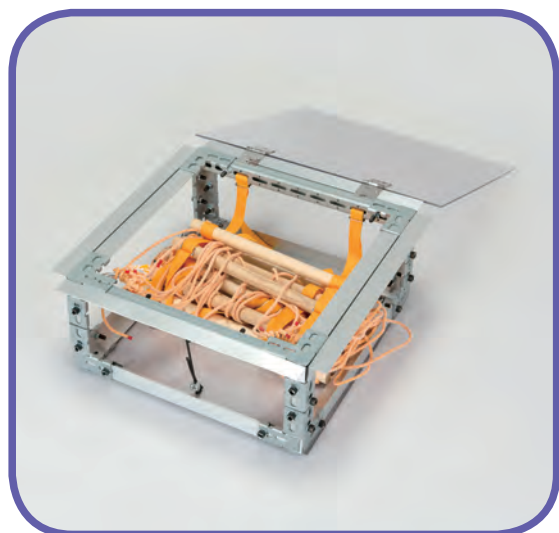
恩賜記念賞

作品名「避難用縄バシゴ『斜楽』^{しゃらく}」

私立聖徳学園小学校(東京都)

5年 ^{みちわき え こ}道脇 愛羽 さん

※学校・学年は応募時のものです。



数学や物理学を応用して張力などの計算をしたり、とても大変でしたが、最後には上手く完成させられ、とても良い経験ができました。将来、世の中の為になる発明や発見を沢山したいと思います。

ニュースに映る集中豪雨の被害の様子を見て「災害が起こったら高い所だと縄バシゴで避難するけど、手の力が弱いと縄バシゴを降りるのは難しそう」と母。それを聞いて「お年寄りや子供でも安心して安全に避難できる縄バシゴを作れないか?」と考えました。従来の避難用ハシゴは、揺れたり、反り返った姿勢になって体重を腕で支えなければならず、降りるのが困難です。そこで、下端を固定せずとも揺れず、階段のように傾斜したハシゴとすることで楽に降りられる避難用縄バシゴの研究をしました。

全国各地域にて開催された発明くふう展において優秀な成績をあげた756点の作品が各地域から推薦されました。



■展覧会

会 期：平成31年3月27日(水)～31日(日)

会 場：東京・北の丸公園 科学技術館1階 展示・イベントホール

■表彰式

会 期：平成31年3月27日(水)

会 場：東京・北の丸公園 科学技術館地下2階 サイエンスホール

■受賞内訳

恩賜記念賞…1件、特別賞…13件、奨励賞…20件、入選…121件

計155件



■主催・後援

主催：公益社団法人発明協会

後援：文部科学省、経済産業省、特許庁、世界知的所有権機関、

日本弁理士会、NHK、毎日新聞社、

公益財団法人 日本科学技術振興財団・科学技術館、

全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国高等学校長協会、

公益社団法人全国工業高等学校長協会

本展覧会は、子どもたちにもものづくりを通じて、創作の喜びや発明くふうの楽しさを知ってもらい、その創造力を育てることを目的に開催しています。夏休みの自由研究、発明クラブ活動の中から生まれた作品、ユニークな生活用品など、アイデアに満ちた作品が全国から出品されています。

展示会場では、発明くふう作品の展示以外に、協賛企業等による発明教室、電子顕微鏡や模倣品などの特別展示、サイエンスショーも実施。発明、工作好きにはたまらない5日間になりました。

3月28日(木)

♪ピピッ、ブー、シュッ!! 電気で音を作ろう!!

講師：株式会社エヌエフ回路設計ブロックの皆さん

専門の機械を動かして、電気のように見ながら、電気の性質を学び、いろいろな音を作り出してみました。



3月29日(金)

ダンボールでワゴン車を作ろう!! ～Hondaドリームハズ

講師：本田技研工業株式会社の皆さん

ダンボールクラフトでワゴン車を作成し、モノをつくり上げる楽しさや喜びを体験しました。



3月30日(土)

本づくりのひみつ ～“リングとじ”の発明ノートを作ってみよう!～

講師：大日本印刷株式会社の皆さん

本がどのような工夫をして出来ているのか、印刷が色をどのような仕組みで表現しているのかを学び、自分だけの発明ノートを作りました。



3月31日(日)

モーターと電池のおもしろ工作 走れ! 動物レース

講師：三菱電機株式会社 人材開発センターの皆さん

モーターの原理とモーターを使った振動の起こし方を学び、モーターをブラシに取り付け動物を作りました。その後、誰が一番早いかレースで競いました。



特別展示コーナー(3/27～31)

知っているものの知らない世界! 電子顕微鏡で見てみよう!

講師：株式会社日立ハイテクノロジーズの皆さん



ホンモノ? ニセモノ? 君はわかるかな?

協力：(一社) コンピュータソフトウェア著作権協会、(一社) 日本商品化権協会、
(一社) 日本時計協会、(一社) 日本流通自主管理協会、
(一社) 日本レコード協会、(株)サンリオ、特許庁



善ちゃんのサイエンスショー(3/27) & サイエンス教室(3/27-31)



3月27日にはサイエンスショーを実施しました。大人も子どもも楽しみながら、科学の不思議を体験しました。



また、全期間通じてサイエンス教室を開催。スーパーボールロケット、宝石万華鏡、間伐材の射的など、いろいろな工作品を作りました。

第41回未来の科学の夢絵画展



文部科学大臣賞



作品名「折り紙電池」

十和田市立南小学校(青森県)

4年 ^{にいぜき こたろう} 新関 琥太郎 さん

※学校・学年は応募時のものです。



ぼくの考えた「折り紙電池」のようなものができたら、日本や世界の国々で災害で困っている人の手助けになるとと思っています。

折り紙の様に折る、切る、貼るなど、色々な形に変身する電池です。太陽光で充電でき、紙の様に薄く、軽いので、避難所の保管場所も少しでOKです。



■展覧会

会 期：平成31年4月17日(水)～21日(日)

会 場：国立科学博物館 地球館2階(特別賞・優秀賞)、3階(奨励賞)

■表彰式

会 期：平成31年4月19日(金)

会 場：国立科学博物館 日本館2階 講堂

■受賞内訳

応募総数：8,069点

	特別賞	優秀賞	奨励賞	合計
小学校・中学校の部	11	48	77	136
幼稚園・保育園の部	1	5	40	46
外国人学校の部	1	5	10	16
合計	13	58	127	198

■主催・後援

主催：公益社団法人発明協会

後援：文部科学省、経済産業省、特許庁、国立科学博物館、
日本弁理士会、NHK、朝日新聞社、朝日小学生新聞、
朝日中高生新聞、公益財団法人 日本美術教育連合、
公益社団法人 美育文化協会



本絵画展は、未来への夢を自由な発想によって絵に表現することで、科学への関心を高めてもらうことを目的として開催しています。構図、色使い、コメントなどのすべてに青少年が科学に見る夢を感じ取ることができます。



経済産業大臣賞

「マイクロプラスチック回収クラゲ」



岡山大学教育学部附属中学校 (岡山県)

2年 小坂 空 さん

海中に漂うマイクロプラスチックをクラゲ型回収機の触手が吸収し、エネルギーに変換する。そのエネルギーで海水をろ過し、汚染から守ってくれる。



特許庁長官賞

「トランスフォーム車イス」



川崎市立百合丘小学校 (神奈川県)

5年 三輪 優斗 さん

(川崎北部少年少女発明クラブ)

車イスが変形する事で階段の昇り降りや電車の乗り降りを自力で行う事が出来る。GPS道案内機能付。AIが体調管理や自力で色々な事が出来るようにサポートしてくれる。



(幼稚園・保育園の部)

発明協会会長賞

「畑作り名人ロボット、楽ちんさん」



神戸大学附属幼稚園 (兵庫県)

星島 有美子 さん

おばあちゃんが畑仕事をするのは重労働だから、うねを耕やす足と肥料をやる手、種が均等に飛び出す口と水をまくお尻があるロボットがあれば助かるよね。



(外国人学校の部)

発明協会会長賞

「災害人さがしゴーグル」



東京中華学校 (東京都)

9年 胡 宇琪 さん

地震などの災害でどこかに埋もれて助けられずに死んでしまう人は少なくない。この埋もれている人も赤い点として見えるゴーグルで多くの命を助けたい。

※学校・学年は応募時のものです。



第9回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト

課題 からくりパフォーマンズカー

仲間と力を合わせて取り組もう！



文部科学大臣賞



チーム名 あやめ～みやこんじよのはな～(宮崎県代表)

作品名 きっくいやんせ～みやこんじよのよかまつり～
(都城少年少女発明クラブ)

都城の祭り、六月灯(ろっがっどう)をテーマに、祭りやお城、花火を表現。動力車は提灯が上下し落下傘が飛び出します。最初の山車ではお祭りの奉納踊りやお囃子太鼓が車輪の回転力だけを使った機構で表現され、2台目の山車からは隠れていたお城がせり上がり次々と花火が上がりました。



特許庁長官賞



チーム名 RSブラザーズ(大阪府代表)

作品名 理科の実験
(大阪市森之宮少年少女発明クラブ)

理科で習う内容を楽しいからくりで表現。動力車では遠心力で回転するUFOを、山車1台目では磁力を使ったテーブルマジック。山車の2台目では圧力を利用した空気砲からドーナツ型の煙が飛び出しました。

地区大会

会 期：平成30年7月～9月

参加都道府県：37都道府県

実施地区数：74地区

参加チーム数：594チーム

全国大会

会 期：平成30年12月1日(土)

会 場：東京工業大学 屋内運動場

出場チーム数：60チーム

(うち、上位20チームが決勝進出)



主催・後援・特別協賛

主 催：公益社団法人発明協会

後 援：文部科学省、経済産業省、特許庁、
日本弁理士会、NHK、読売新聞社、
東京工業大学、全国連合小学校長会、
全日本中学校長会

特別協賛：株式会社荏原製作所



EBARA



コンテスト概要

コンテスト課題：「からくりパフォーマンスカー」

コンテスト内容：未来・環境・宇宙・スポーツ・地元などPRしたいものを紹介

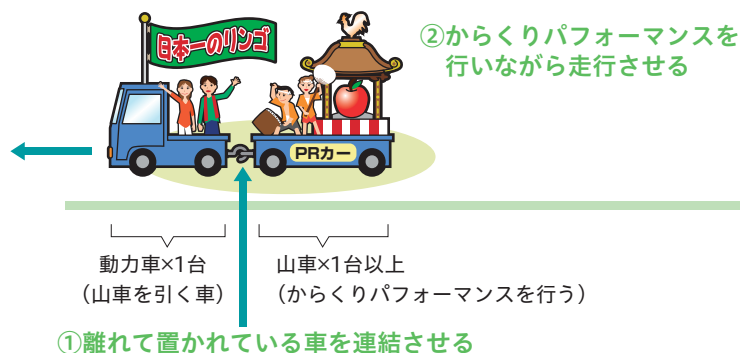
■課題

制限時間1分で、2つの課題をクリア

- ①動力車と山車を連結
- ②パフォーマンスを行いながら走行

■審査のポイント

- ・パフォーマンス走行の正確さ
- ・パフォーマンス内容
- ・作品（山車・動力車）の工夫点
- ・作品プレゼンテーション（決勝のみ）



全国大会結果

賞名	地域	チーム名	作品名
文部科学大臣賞	宮崎県	あやめ～みやこんじょのはな～	きっくいやんせ～みやこんじょのよかまつり～
特許庁長官賞	大阪府	RSブラザーズ	理科の実験
発明協会会長賞	愛知県	みどりボーイズ	サイコー！林間学校
発明協会会長賞	京都府	Eternal Light H.S	生命の息吹 ～集うレッドリストの鳥たち～
発明協会会長賞	広島県	オリンピックを応援し隊	ピョンチャンオリンピックの感動をもう一度
JKA会長賞	茨城県	日立櫛っ子軍団	鉱山を救った高い煙突
荏原製作所賞	愛知県	フクプロ豊田	復興の道のり
日本弁理士会会長賞	愛知県	だるま	僕らの町にサーカスがやってきた。
NHK会長賞	愛知県	くりきんとん	宿場町の大名行列
読売新聞社賞	富山県	チーム砺波 UKFパワー	となみ野のまつり
WEBポイント賞	東京都	KHA	宇宙技術 ～現代から未来～



はつめいキッズからのメッセージ

※学校・学年は応募時のものです。

第77回 全日本学生児童発明くふう展 恩賜記念賞受賞

みちわき えこ
道脇 愛羽さん

私立聖徳学園小学校5年(東京都)



昨年は、全国的に自然災害の多い年となりました。日本全域で起きた集中豪雨の被害のニュース映像を見ていたとき、母が「災害が起こったらマンションの避難用のハシゴを使うことになるけど、手の力が弱いし、揺れてしまうから避難するのは難しそう。」と言いました。それを聞いて私は、「縄バシゴを使って降りる時には、人の重心位置によって縄バシゴが反れ、体がハシゴの下になるので、体重を手で支えなければならなくなってしまう。」と思いました。そこで、「縄が反ってしまわず、手や腕の力が弱い人、お年寄り子供でも安心して安全に降りられる縄バシゴを作れないか？」と考えました。これが、避難用縄バシゴの発明のきっかけです。

縄バシゴを、斜めに垂らすことができれば、階段のようになって手の力を使わなくても昇降できるようになると思いました。

問題は、「重力によって垂直に垂れ下がってしまう縄バシゴを、どうしたら斜めに垂らせるか？」です。この課題を解決する為、考えを巡らせました。すると、頭の中に、小さい頃に見たレインボーブリッジが浮かんできました。レインボーブリッジは、沢山のロープで吊り下げられて支えられる構造になっています。

そこで、吊り橋について、更に調べていくうちに、ロープを斜めに張って支える斜張橋というタイプの橋の吊り方が有ることを知りました。私は、これだあ！と思いました。

少しずつ疑問の答えを見付けたり、問題の解決を図ったりして、徐々に、試作品の構想を固めていき、試作品を作り上げていきました。試作品の実証実験をしてみようと思ったのですが、家で簡単に実験できるものではありませんでした。そこで、父の研究所の皆さんに、実験に協力してもらい、その縄バシゴを昇降することが簡単で安全かを試しました。幸運にも結果は、大成功でした。斜めで、楽である、ということから名前を「斜楽」としました。

数学や物理学を応用して張力などの計算をしたり、とても大変でしたが、最後には上手く完成させられ、とても良い経験ができました。私は、将来、世の中の為になる発明や発見を沢山したいと思います。

(表彰式答辞より抜粋)

第41回 未来の科学の夢絵画展 文部科学大臣賞受賞

にいぜき こたろう
新関 琥太郎さん

十和田市立南小学校4年(青森県)



ぼくの通っている十和田市立南小学校は、「みとめ合い、なかよく、たのしい南小学校」を合言葉に、全校児童約500人が毎日元気に活動をしています。その中でぼくたちの学級27人は、みんな図工が大好きで、作品を作りながら、友だちのよいところをみとめ合っています。ぼくも図工が大好きなので、ピタゴラ装置や電池で動く車などを作っています。

ぼくは、いろいろな発明を生み出す基礎は工作にあると思います。なぜかという、ぼくは今、発明クラブでいろいろなものを作っていますが、上級生が作るロボットは、とてもかっこよく、すごい工夫がいっぱいしてあり、その工夫がたくさん積み重なって、すごい発明になると思うからです。

しかし、一つだけ不満に思うことがありました。それは、

図工や工作に使う電池です。電池には単1、単2、単3やボタン電池、ニカド充電電池などたくさんの種類があり、たくさんの種類の電池を買うにはお金もかかります。売り切れで、お店を何軒もまわったりしたこともあります。充電式電池でも、停電になったら充電できず、充電するのを忘れていたら使うことができません。

そこでぼくは、折り紙のようにいろいろな形にできる電池があったらいいなと考えて、この「折り紙電池」を描きました。折り紙のように折ったり、切ったり、はったりして、いろいろな形に加工できるし、太陽光でも充電できれば停電の時でも使うことができます。

ぼくの父が災害派遣で東日本大震災の被災地に行ったとき、電気製品が使えず、多くの人が困っていたり、携帯電話の充電に長い行列ができたりしていたと言っていました。

でも、この折り紙電池は、太陽の光で充電できます。しかも、折り紙なので工夫すれば、スマートホンや懐中電灯の電池にも変身できます。保管も場所をとらずにすむので、避難場所にも便利です。

ぼくの考えた「折り紙電池」のようなものができたら、日本や世界の国々で災害で困っている人の手助けになると思っています。

(表彰式答辞より抜粋)

■北海道・東北

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
1	北海道	札幌中島少年少女発明クラブ
2		函館少年少女発明クラブ
3		小樽少年少女発明クラブ
4		帯広少年少女発明クラブ
5		札幌西少年少女発明クラブ
6		北見少年少女発明クラブ
7		苗穂少年少女発明クラブ
8		釧路少年少女発明クラブ
9	青森県	十和田市少年少女発明クラブ
10		八戸市少年少女発明クラブ
11		弘前市少年少女発明クラブ
12		青森市少年少女発明クラブ
13		五所川原市少年少女発明クラブ
14		黒石市少年少女発明クラブ
15		三沢市少年少女発明クラブ
16		小泊少年少女発明クラブ
17		平川市少年少女発明クラブ
18		六ヶ所村少年少女発明クラブ
19		板柳町少年少女発明クラブ
20	岩手県	盛岡市少年少女発明クラブ
21		奥州市少年少女発明クラブ
22		北上市少年少女発明クラブ
23		大東町少年少女発明クラブ
24		花巻少年少女発明クラブ
25		一関市少年少女発明クラブ
26	宮城県	宮古市少年少女発明クラブ
27		仙台市泉少年少女発明クラブ
28		仙台市太白少年少女発明クラブ
29		仙台市青葉少年少女発明クラブ
30		大和町少年少女発明クラブ
31		富谷市少年少女発明クラブ

少年少女発明クラブニュース 2018年5月号 はつめいプリンス

石岡少年少女発明クラブ(茨城)

齋藤 匠樹さん(小6)



発明クラブには2年間の所属ですが、昨年度には石岡少年少女発明クラブ30周年記念の「石岡アイデア賞」や県展、第76回全日本学生児童発明くふう展等に入賞することができました。本当にうれしく思いました。小学6年生なので、今年が最後の年になり残念ですが、中学校へ行っても発明のアイデアは続けて考えていきたいと思っています。

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
32	秋田県	大館少年少女発明クラブ
33		秋田市少年少女発明クラブ
34	山形県	山形少年少女発明クラブ
35		鶴岡少年少女発明クラブ
36		東根少年少女発明クラブ
37		三川少年少女発明クラブ
38		米沢少年少女発明クラブ
39		最上少年少女発明クラブ
40	福島県	天童少年少女発明クラブ
41		福島市少年少女発明クラブ
42		郡山市少年少女発明クラブ
43		南相馬市少年少女発明クラブ
44		会津若松市少年少女発明クラブ
45		喜多方市少年少女発明クラブ

少年少女発明クラブニュース 2018年7月号 はつめいプリンセス

大和郡山市少年少女発明クラブ(奈良)

久保田 彩菜さん(小5)



学校で配られたチラシを見て、小学4年から発明クラブに参加しています。昨年は、ノコギリがまっすぐ切れる装置「板が上手に切れる君」を作りました。昨年取り組んだ、音声センサーを使ったクリスマスツリー作りが楽しかったので、今年は、自分のアイデアで音声センサーを使った電子工作に取り組んでみたいです。

■関東

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
46	茨城県	水戸少年少女発明クラブ
47		ひたちなか少年少女発明クラブ
48		石岡少年少女発明クラブ
49		日立少年少女発明クラブ
50		牛久市少年少女発明クラブ
51	栃木県	小山市少年少女発明クラブ
52	群馬県	前橋少年少女発明クラブ
53		高崎少年少女発明クラブ
54		桐生少年少女発明クラブ
55	埼玉県	富岡少年少女発明クラブ
56		加須市少年少女発明クラブ
57		さいたま市少年少女発明クラブ
58		新座市少年少女発明クラブ

■中部

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
59	千葉県	千葉市少年少女科学クラブ
60		八匠少年少女発明クラブ
61		松戸市少年少女発明クラブ
62		旭少年少女発明クラブ
63		佐倉少年少女発明クラブ
64		茂原少年少女発明クラブ
65		市原・袖ヶ浦少年少女発明クラブ
66	東京都	台東区少年少女発明クラブ
67		調布少年少女発明クラブ
68		おおた少年少女発明クラブ
69		町田市少年少女発明クラブ
70	神奈川県	横浜中田少年少女発明クラブ
71		川崎少年少女発明クラブ
72		川崎さいわい少年少女発明クラブ
73		川崎北部少年少女発明クラブ
74		海老名少年少女発明クラブ
75	長野県	大町少年少女発明クラブ
76		長野少年少女発明クラブ
77		松本少年少女発明クラブ
78		飯田少年少女発明クラブ
79	山梨県	甲府少年少女発明クラブ
80		都留少年少女発明クラブ
81		身延町少年少女発明クラブ
82	静岡県	湖西少年少女発明クラブ
83		三島市少年少女発明クラブ
84	新潟県	十日町少年少女発明クラブ
85		上越市少年少女発明クラブ

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
86	愛知県	刈谷少年少女発明クラブ
87		豊田少年少女発明クラブ
88		大府市少年少女発明クラブ
89		西尾市少年少女発明クラブ
90		東海市少年少女発明クラブ
91		安城市少年少女発明クラブ
92		高浜市少年少女発明クラブ
93		半田市少年少女発明クラブ
94		岡崎市少年少女発明クラブ
95		知立少年少女発明クラブ
96		碧南市少年少女発明クラブ
97		一宮少年少女発明クラブ
98		阿久比町少年少女発明クラブ
99		豊川少年少女発明クラブ
100		名古屋少年少女発明クラブ
101		蒲郡少年少女発明クラブ
102		豊橋少年少女発明クラブ
103		大口少年少女発明クラブ
104		北名古屋少年少女発明クラブ
105		日進市少年少女発明クラブ
106		田原市少年少女発明クラブ
107		愛知みよし少年少女発明クラブ
108		幸田町少年少女発明クラブ
109	岐阜県	岐阜市少年少女発明クラブ
110		各務原市少年少女発明クラブ
111		大垣市少年少女発明クラブ
112		多治見市少年少女発明クラブ
113	三重県	瑞穂市少年少女発明クラブ
114		津市少年少女発明クラブ
115		鈴鹿少年少女発明クラブ
116		河芸少年少女発明クラブ
117	富山県	桑名市少年少女発明クラブ
118		高岡少年少女発明クラブ
119		黒部少年少女発明クラブ
120		小杉少年少女発明クラブ
121	石川県	砺波市少年少女発明クラブ
122		小矢部少年少女発明クラブ
123		金沢市少年少女発明クラブ
124		小松市少年少女発明クラブ
125	福井県	羽咋市少年少女発明クラブ

少年少女発明クラブニュース 2018年9月号
はつめいプリンス

南相馬市少年少女発明クラブ(福島)

紺野 峻雄さん(中2)



僕は、発明クラブに所属して5年目になります。発明クラブでは、プログラミングやロボットを作りました。市の発明工夫展では、おじいちゃんの膝が痛くならない膝当てと、赤ちゃんの誤飲防止ごみ箱を作り、賞をもらいました。「困っている人の手助けをしてあげたい」。それが僕にとっての発明です。

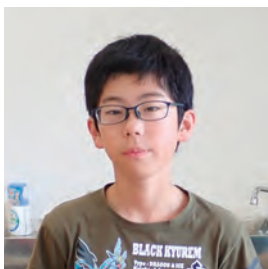
近畿

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
126	福井県	福井市少年少女発明クラブ
127	滋賀県	大津少年少女発明クラブ
128		多賀町少年少女発明クラブ
129		永源寺少年少女発明クラブ
130		愛荘町少年少女発明クラブ
131		湖南市少年少女発明クラブ
132		彦根市少年少女発明クラブ
133		栗東市少年少女発明クラブ
134	京都	長岡京市少年少女発明クラブ
135	大阪	交野市少年少女発明クラブ
136		東大阪市少年少女発明クラブ
137		大阪市森之宮少年少女発明クラブ
138		大阪市日本橋少年少女発明クラブ
139		大阪市生野少年少女発明クラブ
140	兵庫県	神戸市少年少女発明クラブ
141		淡路少年少女発明クラブ
142		伊丹市少年少女発明クラブ
143		姫路少年少女発明クラブ
144	奈良県	大和郡山市少年少女発明クラブ
145		高取町少年少女発明クラブ
146		奈良市少年少女発明クラブ
147	和歌山県	有田市少年少女発明クラブ
148		海南市少年少女発明クラブ
149		和歌山市少年少女発明クラブ
150		御坊市少年少女発明クラブ
151		紀の川市少年少女発明クラブ
152		有田川町少年少女発明クラブ
153		橋本市少年少女発明クラブ
154		田辺市少年少女発明クラブ
155		新宮市少年少女発明クラブ
156		岩出市少年少女発明クラブ

少年少女発明クラブニュース 2018年11月号 はつめいプリンス

北島町少年少女発明クラブ(徳島)

福永 智教さん(小6)



ぼくは、発明クラブに所属して今年で3年目になります。中でも人エイクラや電子イライラ棒を作るのが楽しかったです。中学生になっても発明クラブで学んだことを、日々の生活に生かしていきたいです。

少年少女発明クラブニュース 2019年1月号 はつめいプリンセス

出雲少年少女発明クラブ(島根)

竹内 桜子さん(小6)



私は、発明クラブに所属して今年で3年目になります。発明くふう展に出品する作品として作った「ぐるぐるトランプ」は思っていた物をかたちにできました。卒業工作では、困っている人の役に立つものを作るようにがんばりたいです。

中国

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
157	鳥取県	鳥取市少年少女発明クラブ
158	島根県	出雲少年少女発明クラブ
159		大社町少年少女発明クラブ
160		日原少年少女発明クラブ
161		松江少年少女発明クラブ
162	岡山県	玉野市少年少女発明クラブ
163		津山市少年少女発明クラブ
164		岡山市少年少女発明クラブ
165	広島県	広島少年少女発明クラブ
166		呉市少年少女発明クラブ
167		東広島市少年少女発明クラブ
168		福山少年少女発明クラブ
169	山口県	柳井市少年少女発明クラブ
170		山口市少年少女発明クラブ
171		下関市少年少女発明クラブ
172		田布施町少年少女発明クラブ
173		防府市少年少女発明クラブ
174		宇部市少年少女発明クラブ
175		周南少年少女発明クラブ

■四国

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
176	徳島県	阿南市少年少女発明クラブ
177		北島町少年少女発明クラブ
178		三好少年少女発明クラブ
179	香川県	三木町少年少女発明クラブ
180		三豊市少年少女発明クラブ
181		東かがわ市少年少女発明クラブ
182	愛媛県	今治市少年少女発明クラブ
183		砥部町少年少女発明クラブ
184		松山市少年少女発明クラブ
185	高知県	新居浜市少年少女発明クラブ
186		南国市少年少女発明クラブ

少年少女発明クラブニュース 2019年3月号
はつめいプリンス



砺波市少年少女発明クラブ(富山)
棚田舜太郎さん(小6・右)
水上 聖斗さん(小6・左)

ぼくたちは、発明クラブに所属して3年目になります。ラジオやライトなどの電子工作で、はんだ付けをしたのが楽しかったです。また、チャレコンでは全国大会を目指して電気を使わずにタイヤの回転だけで動く仕組みを考えて作りました。中学校では3年間の経験を生かして豊かな発想力をもって活動したいです。

■九州・沖縄

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
187	福岡県	北九州市少年少女発明クラブ
188		飯塚少年少女発明クラブ
189		くるめ少年少女発明クラブ
190	佐賀県	武雄市少年少女発明クラブ
191		佐賀市少年少女発明クラブ
192	長崎県	長崎市科学館少年少女発明クラブ
193		諫早市少年少女発明クラブ
194	熊本県	荒尾少年少女発明クラブ
195		熊本市少年少女発明クラブ
196	大分県	大分少年少女発明クラブ
197		別府少年少女発明クラブ
198		きつき少年少女発明クラブ
199		佐伯市少年少女発明クラブ
200		ひた少年少女発明クラブ
201		豊後高田少年少女発明クラブ
202		宇佐少年少女発明クラブ
203		くにさき少年少女発明クラブ
204		中津少年少女発明クラブ
205	宮崎県	都城少年少女発明クラブ
206		宮崎少年少女発明クラブ
207		延岡少年少女発明クラブ
208	鹿児島県	鹿児島少年少女発明クラブ
209	沖縄県	なは市少年少女発明クラブ

発明協会発行媒体「少年少女発明クラブニュース」(奇数月発行)では、毎号の表紙で発明クラブの紹介をしています。今回の報告書では、2018年度に表紙を飾った「はつめいプリンセス&プリンス」をご紹介します。
※所属・学年は掲載時のものです。

★ウェブサイト「はつめいキッズ」★

ホームページ「はつめいキッズ」は、発明協会の青少年創造性開発育成事業紹介に加え、ホームページを訪れた子どもたちのさまざまな意欲を刺激し応援するコンテンツになっています。

【URL】 <http://kids.jiii.or.jp>

- 少年少女発明クラブ
- 全日本学生児童発明くふう展
- 全国少年少女チャレンジ創造コンテスト
- 未来の科学の夢絵画展
- 青少年創造性開発育成海外交流派遣団
- +工作のヒント、発明クラブニュース、過去の大会動画などが掲載されています

The screenshot shows the homepage of 'はつめいキッズ' (Hatsumei Kids). The header features the site's logo and tagline 'こどもと一緒に未来をクリエイト'. Below the header, there are several navigation tabs: 'はつめいキッズ', '少年少女発明クラブ', '地域活性化アイデア', '全国少年少女チャレンジ創造コンテスト', '全日本学生児童発明くふう展', '未来の科学の夢絵画展', and '青少年創造性開発育成海外交流派遣団'. The main content area is divided into two columns. The left column, titled '注目情報(新着)', lists recent news items with dates and brief descriptions, such as '第77回全日本学生児童発明くふう展 開催報告' (Report on the 77th All-Japan Student Children's Invention Exhibition) and '第77回全日本学生児童発明くふう展 受賞者発表' (Award winners announced for the 77th All-Japan Student Children's Invention Exhibition). The right column, titled 'お知らせ(新着)', contains announcements, including '第10回全国少年少女チャレンジ創造コンテストの地区事務局募集のご案内' (Notice of recruitment for regional secretaries for the 10th National Youth Challenge Creation Contest) and '第77回全日本学生児童発明くふう展 作品紹介' (Introduction of works for the 77th All-Japan Student Children's Invention Exhibition). The bottom of the page has a 'すべて見る' (View all) link.

2018年度 青少年創造性開発育成事業に係る協賛金及び寄付金

当協会の「青少年創造性開発育成事業」に対し、多くの企業・団体から協賛金及び寄付を賜りました。多くのご支援に対し、心より御礼を申し上げます。

皆さまからいただいた貴重な資金を活用させていただき、少年少女発明クラブ、全日本学生児童発明くふう展、未来の科学の夢絵画展、全国少年少女チャレンジ創造コンテストをはじめとする「青少年創造性開発育成事業」を実施することができました。これにより、ものづくりを通じた科学的な考え方、発明工夫の重要性等の意識向上を図り、我が国の次代を担う創造性豊かな人材の育成に努めて参ります。





青少年創造性開発育成事業 報告書2018

Annual Report 2018
Promotion of Young People's Creativity

発行／2019年6月



お問い合わせ先／

公益社団法人発明協会 青少年創造性グループ

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-1-1

TEL 03-3502-5434 FAX 03-3502-3485

公益社団法人発明協会 Webサイト <http://koueki.jiii.or.jp/>

はつめいキッズWebサイト <http://kids.jiii.or.jp/>



本書の全部または一部の無断転用を禁じます。
©2019 Japan Institute of Invention and Innovation

発明協会は様々な事業を通じ、 未来の日本を担う子どもたちの 創造性の開発・育成を推進しています

青少年創造性開発育成事業協賛企業



ゴールドスポンサー

Asahi**KASEI**



シルバースポンサー



ブロンズスポンサー

アイシン精機株式会社

アステラス製薬株式会社

株式会社石井鐵工所

株式会社エヌエフ回路設計ブロック

キタムラ機械株式会社

株式会社キンセイ産業

寿産業株式会社

株式会社コロナ

株式会社ササキコーポレーション

株式会社ジェイテクト

株式会社シェルター

株式会社島津製作所

住友電気工業株式会社

第一三共株式会社

DMG森精機株式会社

東レ株式会社

豊田合成株式会社

トヨタ車体株式会社

トヨタ紡織株式会社

日産自動車株式会社

日東電工株式会社

日本発条株式会社

株式会社日立ハイテクノロジーズ

富士フイルム株式会社

ブラザー工業株式会社

本田技研工業株式会社

株式会社山本製作所

◆寄付 トヨタ自動車株式会社